

理学部・理学研究科の沿革と概要

- 昭和24年5月 「国立学校設置法」公布により、神戸経済大学・神戸工業専門学校・姫路高等学校・兵庫師範学校・兵庫青年師範学校を包摂して、神戸大学が設置され、文理学部理科(統計数学科・物理学科・化学科・生物学科)としてスタート
- 昭和29年4月 文理学部を廃止し、文学部と理学部(数学科・物理学科・化学科・生物学科)が設置された。
- 昭和41年4月 附属臨海実験所が設置(兵庫県淡路島岩屋)された。
- 昭和48年4月 地球科学科が設置された。
- 平成 5年4月 地球科学科が地球惑星科学科に改称された。
- 平成 7年3月 附属臨海実験所が廃止(内海域機能教育研究センターへ改組)された。
- 平成27年4月 地球惑星科学科が惑星学科に改称された。

理学研究科の沿革

- 昭和32年4月 理学専攻科が設置された。
- 昭和40年3月 理学専攻科が廃止された。
- 昭和40年4月 理学研究科修士課程(数学専攻・物理学専攻・化学専攻・生物学専攻)が設置された。
- 昭和52年4月 理学研究科修士課程に地球科学専攻が設置された。
- 昭和54年4月 生産科学専攻(後期3年博士課程)が独立専攻として工学研究科に設置された。
- 昭和55年4月 物質科学専攻(後期3年博士課程)が理学研究科に、システム科学専攻(後期3年博士課程)が工学研究科に独立専攻として設置された。
- 昭和56年4月 自然科学研究科(後期3年博士課程)が設置された。
物質科学専攻(理学研究科物質科学専攻を移行)、生産科学専攻(工学研究科生産科学専攻を移行)、資源生物科学専攻、環境科学専攻、システム科学専攻(工学研究科システム科学専攻を移行)
- 平成元年4月 自然科学研究科(後期3年博士課程)に知能科学専攻が設置された。
- 平成 6年4月 理学研究科(数学専攻・物理学専攻・化学専攻・生物学専攻・地球惑星科学専攻)、工学研究科(建設学専攻・電気電子工学専攻・機械工学専攻・応用化学専攻・情報知能工学専攻)及び農学研究科(応用動物学専攻・植物資源学専攻・生物環境制御学専攻・生物機能化学専攻・生産環境情報学専攻)が、自然科学研究科の前期課程として改組・統合され、自然科学研究科は、前期2年及び後期3年の課程に区分する博士課程の独立研究科となった。後期課程に生命機能科学専攻が設置された。
- 平成 9年4月 後期課程の「物質科学専攻」、「環境科学専攻」及び「知能科学専攻」が廃止され、「情報メディア科学専攻」、「分子集合科学専攻」及び「地球環境科学専攻」が設置された。
- 平成10年4月 後期課程の「資源生物科学専攻」及び「システム科学専攻」が廃止され、「構造科学専攻」及び「資源エネルギー科学専攻」が設置された。
- 平成11年4月 後期課程の「生産科学専攻」及び「生命機能科学専攻」が廃止され、「システム機能科学専攻」及び「生命科学専攻」が設置された。
- 平成11年10月 後期課程に国際大学院特別コースが設置された。
- 平成15年10月 神戸商船大学との統合により、自然科学研究科の改組を行い、博士課程後期課程に次の10専攻が設置された。
数物科学専攻、分子物質科学専攻、地球惑星システム科学専攻、情報・電子科学専攻、機械・システム科学専攻、地域空間創生科学専攻、食料フィールド科学専攻、海事科学専攻、生命機構科学専攻、資源生命科学専攻

また、前期課程に海事技術マネジメント学専攻、海上輸送システム学専攻、マリンエンジニアリング専攻が設置された。

平成16年4月 国立大学法人法の施行に伴い、設置者が「国」から「国立大学法人神戸大学」となり、神戸商船大学大学院商船学研究科に在学していた学生は、自然科学研究科に設置された次の専攻に移籍した。

前期2年の課程：商船システム学専攻、輸送情報システム工学専攻、
海洋電子機械工学専攻、動力システム工学専攻

後期3年の課程：海上輸送システム科学専攻、海洋エネルギー工学専攻

平成19年4月 自然科学研究科の改組を行い、前期2年及び後期3年の課程に区分する博士課程として、次の4研究科が設置された。

理学研究科(数学専攻・物理学専攻・化学専攻・生物学専攻・地球惑星科学専攻)

工学研究科(建築学専攻・市民工学専攻・電気電子工学専攻・機械工学専攻・応用化学専攻・情報知能学専攻)

農学研究科(食料共生システム学専攻・資源生命科学専攻・生命機能科学専攻)

海事科学研究科(海事科学専攻)

惑星科学研究センターが設置された。

平成27年4月 地球惑星科学専攻が惑星学専攻に改称された。

理学研究科の関連施設の沿革

昭和63年4月 遺伝子実験施設が設置された。

平成 2年6月 バイオシグナル研究センターが設置された。

平成 7年4月 内海域機能教育研究センターが設置された。(理学部附属臨海実験所を改組)

平成 8年5月 都市安全研究センターが設置された。(工学部附属土地造成工学研究施設を改組)

平成 8年5月 アイソトープ総合センターが設置された。

平成 8年9月 ベンチャービジネスラボラトリーが設置された。

平成13年4月 遺伝子実験センターが設置された。(遺伝子実験施設を改組)

平成13年4月 分子フォトサイエンス研究センターが設置された。

平成15年10月 内海域環境教育研究センターが設置された。(内海域機能教育研究センターを改組)

平成19年4月 戦略的重点研究、先端的研究などを推進する組織として、自然科学系先端融合研究環が設置され、重点研究部並びにバイオシグナル研究センター、内海域環境教育研究センター、分子フォトサイエンス研究センター、都市安全研究センター及び遺伝子実験センターが配置された。

平成27年10月 海洋底探査センターが設置された。

平成28年4月 バイオシグナル研究センターと遺伝子実験センターが統合されバイオシグナル総合研究センターが設置された。

平成29年1月 分子フォトサイエンス研究センターが改組された。

平成29年12月 数理・データサイエンスセンターが設置された。